

【解答例】

(I)

- 問1 狩猟・採集の獲得経済から生産経済に移り、農耕・牧畜に適した磨製石器や煮炊き・貯蔵のための土器の使用が始まった。これにより食糧生産が拡大して人口が増え、定住した人類は集落を形成した。余剰生産物で非農業人口を養うようになると分業が進み、抗争も発生した。階級差が生じたことで権威を持つ支配者が現れると、国家が成立した。(156字)
- 問2 鉄器が牛耕や効率的な森林伐採を可能にすると、農業生産力が向上した。森林伐採は華北の乾燥化を招き、多くの建材や燃料を供給して商工業の発達を促し、青銅貨幣の普及につながった。家族単位での農業経営が広がり氏族の解体が進むと、個人の能力を重んじて富国強兵が目指されるようになり、新たな政策や秩序を提唱する諸子百家が現れた。(157字)

(II)

- 問1 ドニエプル川に進出した一派はスラヴ人と同化し、ビザンツ帝国との交流からギリシア正教を受容した。デーン人らはイギリスやフランスに侵入し、封建社会の発達を促した。ノルマンディーに定着した一派はイギリスを征服し、フランスの制度や文化をもたらした。この一派は南イタリアにも建国し、イスラーム文化とヨーロッパ文化の交流を促した。(159字)
- 問2 アラビア語のギリシア・ローマ古典やイスラーム世界の学術書が、パレルモなどでラテン語に翻訳された。こうして西欧に流入したアリストテレス哲学の影響を受けてキリスト教神学がスコラ学として発展し、大学の成立も促された。また、イスラーム科学の影響を受けてロジャー＝ベーコンが実験や観察を重視する自然科学の基礎を築いた。(154字)
- 問3 ミットで保護されたユダヤ人は納税を条件に信仰や自治を保障された。彼らは同業組合に参入し、独自の商業網を形成してオスマン帝国の経済発展に貢献した。(73字)

(III)

- 問1 エンコミエンダ制
- 問2 先住民のキリスト教化と保護を条件に、スペイン王が植民者による先住民の労働力使用を認める制度だったが、植民者は先住民を酷使し、彼らの人口激減を招いた。(74字)
- 問3 エ
- 問4 先住民の抵抗を受けた植民者は彼らとの友好や共存をうたい、法による両者の対等な扱いを主張した。しかし、植民者による先住民の「保護」は実際には抑圧や搾取であり、白人が先住民の政治権力を奪って法執行者として統治した。先住民はプランテーションの労働力として酷使されるか、あるいは、タスマニアのように追放や虐殺を受けた。また、植民者は「文明化」という名目で先住民支配を正当化し、キリスト教改宗などの同化政策を行い、現地文化を破壊した。(212字)